



あやとり ・ こままわし

冬休みの遊びパート②です。

どの遊びが、我が家で楽しめるかな。いろいろやってみてくださいね。

子供のやる気が続くように、子供に気づかれないように上手に負けてやりたり、負けて悔しいふりをしたりしながら続けていくと、勝ち負けのある遊びを楽しめるようになっていきます。「負けることもあるよ、でも、次は頑張ろう」と、気持ちを切り替えることにつながっています。毎日、「今日は、勝つぞ」と家族で楽しめたらいいなと思います。



『あやとり』はどうですか。

指を使う遊び、10本の指をそれぞれに動かすことになります。手指を使うよい遊びです。お母さんの動かす指を見ながら、お手本を真似することや、集中することにもつながるでしょう。「次は、お母さん指(人さし指)を～」と言いながら指を動かすと、指の名前を覚えますね。上手になった子が、私に「先生、次な、このお母さん指でとるねん。そして反対のお母さん指で～」と順番にやり方を教えてくれたことがありました。あやとり名人ですね。相手に分かるように話す力もついてきました。

子供の頃を思い出し親子でしたり、おばあちゃんに教えてもらうのもうれしい時間です。

『こままわし』は、こまにひもを巻きつけるという、手の動きがあります。巻きつける時に力加減もいりますね。両手をこすり合わせてまわすこまも左右別々の手の動きです。子供たちは、まわせるととっても嬉しいです。あきらめず、最後までチャレンジ！お父さんの出番かな。

かるたとり ・ トランプ ・ すごろく



『かるたとり』もいいですね。集中して話を聞くこと、見ること、文字を覚えるきっかけにもなります。上手に負けてやりながら、やる気にさせ、勝負です。

『トランプ』では、七ならべや、ババぬきができます。神経衰弱もありますね。ひとりで難しければ、親子でペアになればいいし、神経衰弱も数を減らせば最後までがんばれます。教室では2枚1組の絵カードで10組ぐらいからする時もあります。

『すごろく』もいいですね。サイコロを転がし、声に出して数えながら、駒をすすめます。



『休日、家族で楽しく、
やってみよう！』

どの遊びも、子供たちにとって大切な力(手指の力、数やルールの理解、コミュニケーションの力、集中力等)につながります。

遊び方を工夫すれば、家族で楽しめます。何よりも人と一緒に泣いたり、笑ったり、楽しさを味わう時間です。ぜひ、家族でやってみてくださいね。

< 横谷 ・ 岩本 >

